

校則の変更(靴下の色・丈)について

おはようございます。生徒会長の太田 七菜です。今日は全校のみなさんに大切なお話があります。私たち執行部は、生徒会員であるみなさんと一緒に「自分たちの生活は自分たちで豊かにする」ことを大切にしたいと願っています。各学年の廊下に設置してある稲中 BOX に今の校則やルールについての疑問や意見が多く入れられていました。その中で私たちは『靴下の色は白でなくてもいいのではないか』という意見について話し合っ、そのメリットやデメリットについて考えました。自分たちで全てを決めることはできないので、生活委員会、議会、校長先生のところに行き意見をもらいました。

生活委員会では「派手な色の靴下を履いてきて目立とうとする人がいるかもしれない」ということ。議会では「怪我のことを考えると丈の基準は残した方がいいのではないか」ということ。校長先生には「白色の靴下となった背景を考えるといいよ」と教えてもらいました。色々な人に色々なことを教えてもらい、考えた結果『靴下の色を白色に限らず自由にすること。丈も制限しない』という判断をして先週、校長先生にも許可を頂きました。ただし、何でも自由というわけではありません。❶例えば寒いからといって、モコモコの靴下を履いてくることは、体育の授業での機能面や緊急時の安全面という観点でふさわしくありません。❷また、入学式や卒業式・4月初めの始業式・3月終わりの終業式などの式典時には『自由』ではなく『白・黒・紺』といった式典にふさわしい色をベースとした靴下で参加をします。白・黒・紺というルールの中で、ワンポイントがあるもの、丈のこと、ちょっとした差し色のことなどを考えて「場に合ったものを自分で判断」することが大切だと思います。

来週の18日(月)から試験的に運用開始をします。その日からは『白色』や『くるぶしが隠れる』という制限はありません。実際にやってみて困ったことや、不都合があったら修正をして26日(火)のⅡ期まとめの集会で最終的な基準を伝えます。そして1月9日(火)から本格的に運用をしていきます。

新しいことを始めようとする、困ることや予想をしていなかったことが起こるかもしれません。でも先生が…とか誰かが変えてくれる。ではなく「自分たちの生活は自分たちで豊かに」していきたいです。先週の人権講和の中で「こどもの権利条約」という話がありました。私たちには、日常生活の中で「権利」がたくさんあるかもしれません。でも「権利」と同時に私たちにはルールを守るという「義務」もあります。自分たちの生活を豊かにしていくために、私たちの学校生活、日常生活から「権利」と「義務」を自分たちで考えて、生活できる稲羽中学校をみなさんと創っていきたいです。今日の生活の中でどんな「権利」と「義務」があるのか自分で考えてくれる人がいてくれると嬉しいです。

これで終わります。